

第9章 平成30年度計画（案）

9.1 平成30年度方針（案）

(1) 業務実施地域

おもに竹富町黒島とする。また、採材等、必要に応じて県内のクジャク生息地での調査を実施する。

(2) 業務実施期間

平成30年4月～平成31年3月とする。

(3) 作業内容

平成30年度の作業は、①4～6月の産卵期に探索犬を用いた営巣卵駆除、②銃器等および平成29年度に試行した新規駆除手法による定期的な成体駆除、③事業を評価するためのクジャク生息調査、④捕食状況を把握するための駆除個体の胃内容調査（随時）、⑤その他の新規防除手法の提案および試行、を実施する。なお、他地域のクジャクの生息・防除状況を把握するための文献調査も随時実施すると同時に、上記③の調査においては、繁殖開始時期に相当する2月下旬～3月上旬に調査を実施することでクジャクの繁殖行動を把握し、翌年の営巣卵駆除につなげる。上述の結果をもとに作業部会および検討委員会で得られた意見をふまえ、今年度の事業の評価を行う。これにより、その他の沖縄県内におけるクジャク防除に向け、有効な防除手法について情報提供を図る。次年度の作業フローおよび作業工程（案）について、図9.1および表9.1に示す。

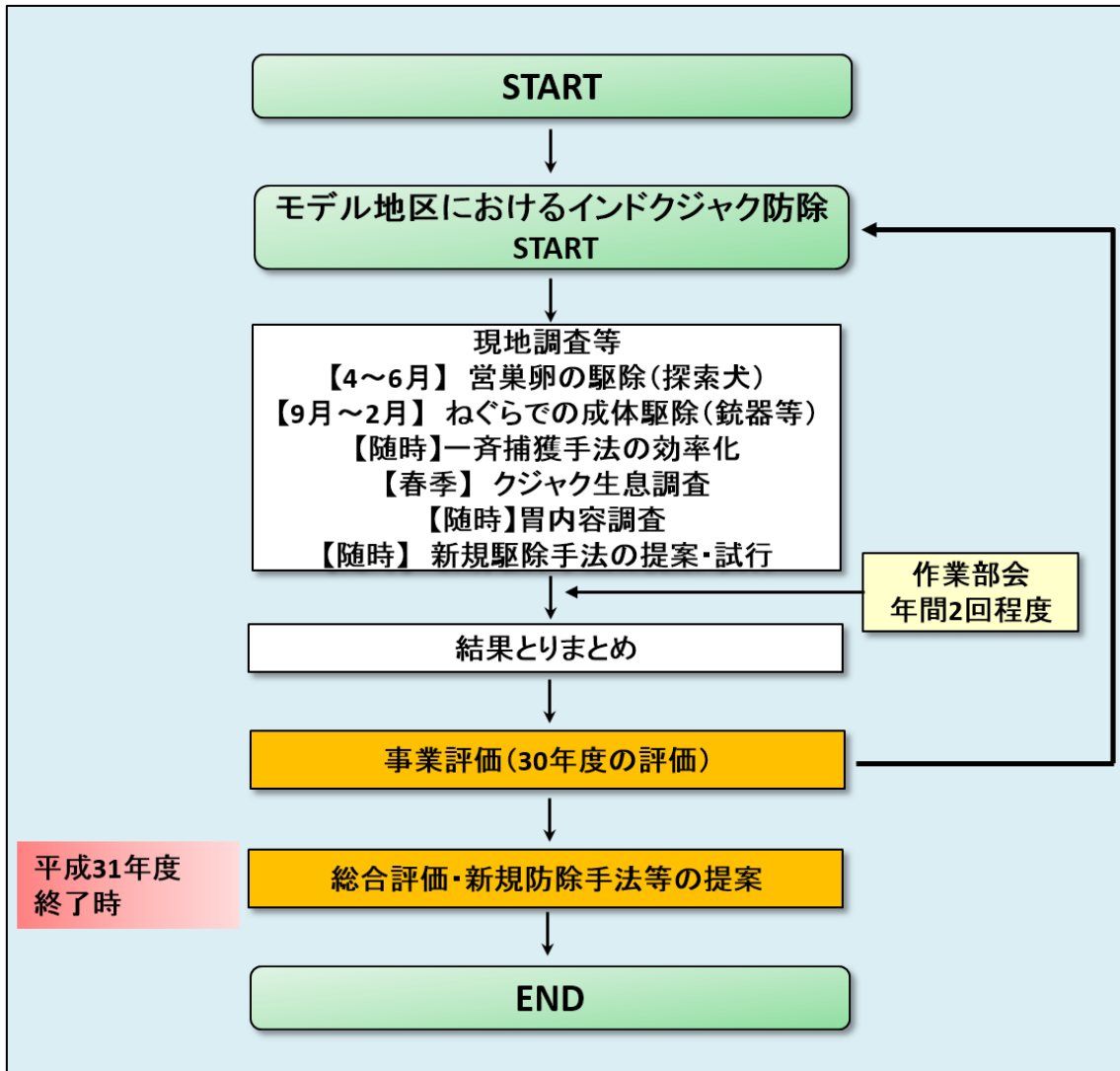


図 9.1 平成 30 年度以降の作業フロー

表 9.1 平成 30 年度対策スケジュール

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
営巣卵の駆除	■												20日間程度
ねぐら調査・駆除						■	■	■	■	■	■		6回程度
一斉捕獲手法の効率化				- - - - -									随時
胃内容調査				- - - - -									随時
動物調査(クジャク)												■	繁殖期
新規防除手法の提案・試行				- - - - -									随時実施

9.2 新規防除手法案

平成 30 年度事業で新規に実施する調査内容案について、以下に示す。

(1) 営巣個体を用いた捕獲

探索犬を用いて発見した営巣地点にはくくりわな（図 6.3）を設置し、抱卵雌個体の捕獲を試みる。

(2) 一斉捕獲手法

平成 29 年度に実施したクジャクの一斉捕獲手法のうち、ネットランチャーおよびくくりわなによる個体の捕獲について捕獲効率を高める工夫を行う。

(3) ドローンによる生息調査

クジャクの駆除をより効果的に進めるには、ねぐら位置を含む個体群動態を把握することが不可欠である。これまでのねぐら調査および捕獲作業は効果的な駆除手法と考えられるが、広大な森林域等では徒歩によるアクセスが困難であり、ねぐらおよび個体群動態の把握が十分にできない。そのため、森林地域においてはドローンにより上空からの個体の動態を把握し、ねぐら調査が実施できるか否かを判断し、可能であればこれまでと同様のねぐら調査・駆除につなげる。なお、当該ドローンには熱感知カメラを設置し、夜間飛行を行い、熱源を探知する方法（図 9.2）によりねぐら位置を確認することも検討する。



図 9.2 ドローン+熱感知カメラによる生物の確認例
https://www.youtube.com/watch?v=vKX_Xp2MnRk より抜粋

第10章 作業部会委員

クジャク対策を専門的知見から評価・検討するための作業部会の委員については、表10.1のとおりである。

表 10.1 クジャク対策作業部会委員

氏名	所属
委員	
金城 道男	沖縄フィールドワーク 代表
高原 建二	沖縄野鳥研究会 会員
田中 聡	希少野生動植物種保存推進員
戸田 守	琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授

平成 29 年度外来種対策事業（クジャク対策）報告書

平成 30（2018）年 3 月

沖縄県環境部自然保護課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1 丁目 2 番 2 号
TEL 098-866-2243 FAX 098-866-2240

業務名 平成 29 年度外来種対策事業（クジャク対策）

請負者 株式会社南西環境研究所
〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4